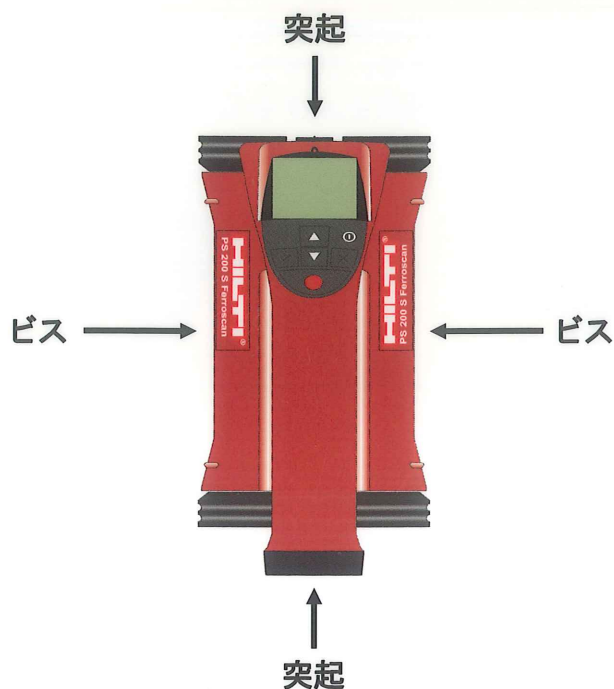
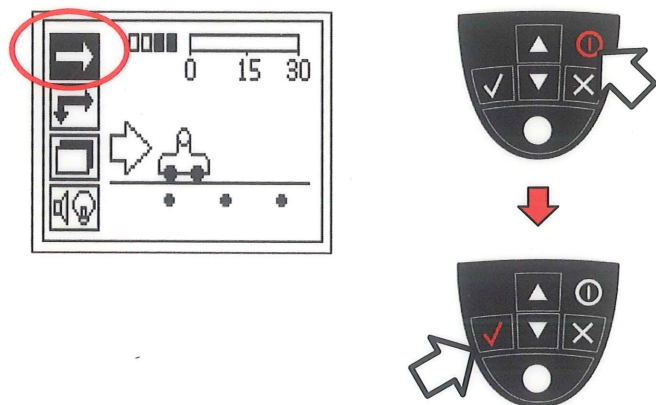


クイックスキャン時の探査位置について



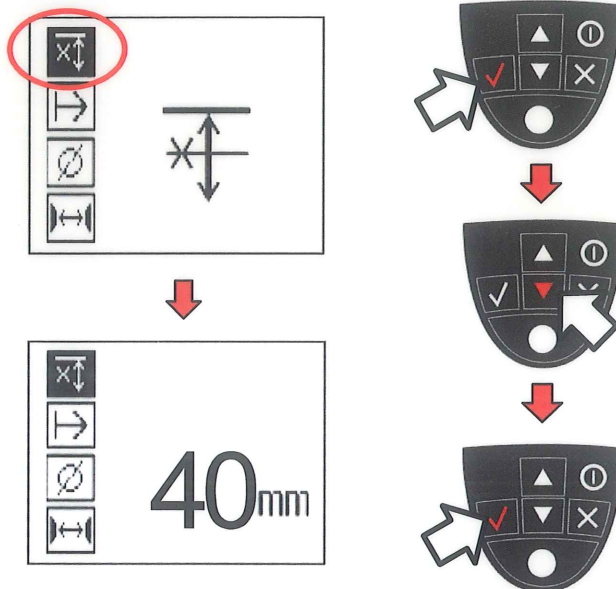
クイックスキャンでは、スキャナのセンターにて探査しています。ビスとビスを結んだラインと、突起と突起を結んだラインが探査箇所になります。よって、ビスとビスを目印に走査線上を探索してください。

①電源ON→クイックスキャン選択



②最小深さの設定

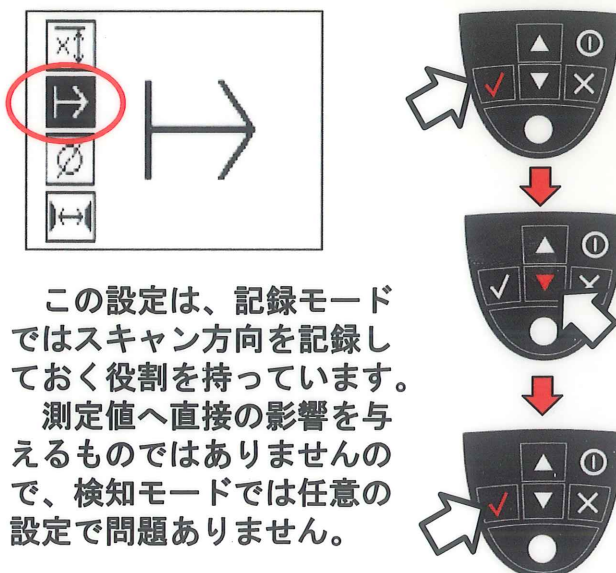
スキャンした際、鉄筋が設定した深さ以内の場合だけ、LEDを点灯させ、ピープ音を鳴らすことができます。



・かぶり厚さ40mm以内に設定した場合

・かぶり厚さ100mm以内の全ての鉄筋でLEDを点灯させ、ピープ音を鳴らしたい場合は、左上図のように×印にします。

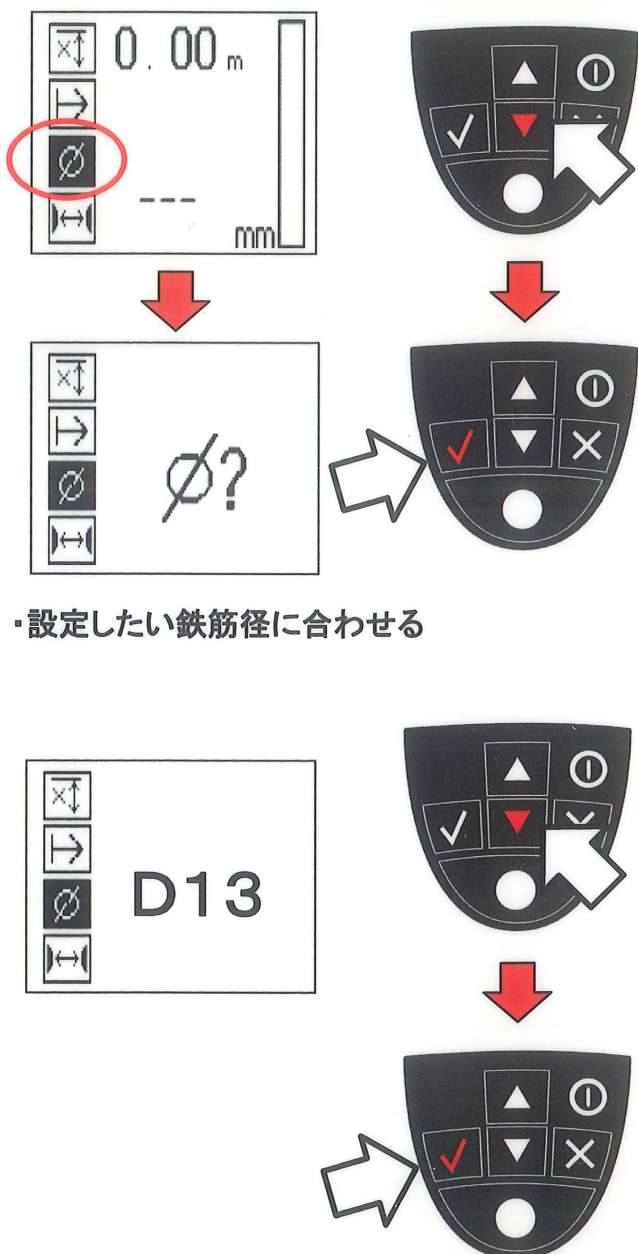
③スキャン方向の設定について



この設定は、記録モードではスキャン方向を記録しておく役割を持っています。

測定値へ直接の影響を与えるものではありませんので、検知モードでは任意の設定で問題ありません。

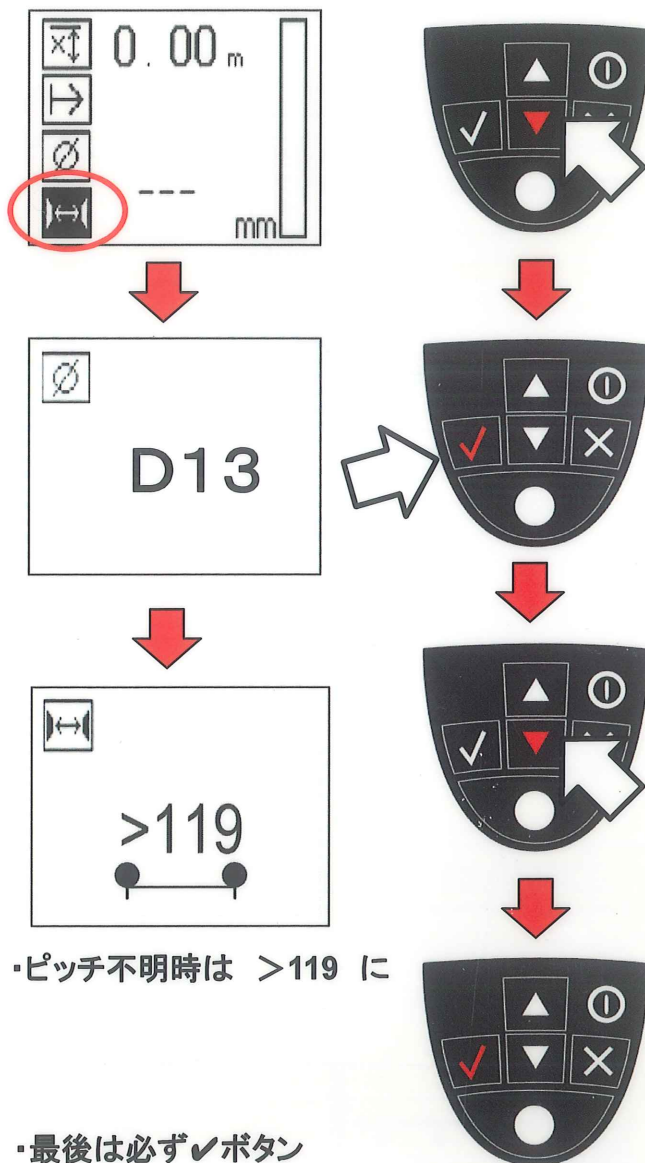
④鉄筋径設定



クイックスキャンでは、鉄筋径を推定することはできません。【Ø?】のまま✓ボタンを押すと、D 2 2と設定されます。

⑤ピッチ設定

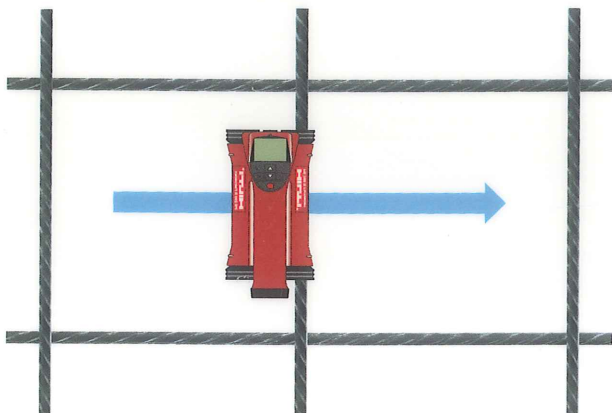
コンクリート二次製品など、ピッチが分かっている場合は、ピッチ入力により、かぶり厚さ測定精度を上げることが出来ます。



ピッチ不明の場合は >119 と設定し、必ず✓ボタンで設定を完了してください。誤ってピッチ設定時、キャンセルボタンを押すと、ピッチが<37となってしまう実際とはかなり違ったかぶり厚さが表示されますので注意が必要です。

⑥クイックスキャン

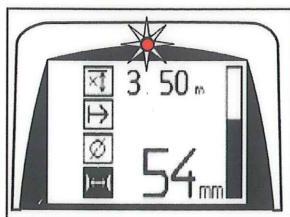
鉄筋の交差部を避け、鉄筋に直交するようにスキャナを転がします。



スキャナの動きにつれて始点からの探査距離が表示されます。鉄筋に近づくと、シグナル強度が大きくなり、ディスプレイにかぶり厚が表示されます。

スキャナが鉄筋のほぼ真上にある場合：

- －LEDが点灯します
- －ピープ音が鳴ります
- －シグナル強度のバーが最大になります
- －おおよその深さが表示されます
(かぶり厚の最小値＝鉄筋のほぼ真上)



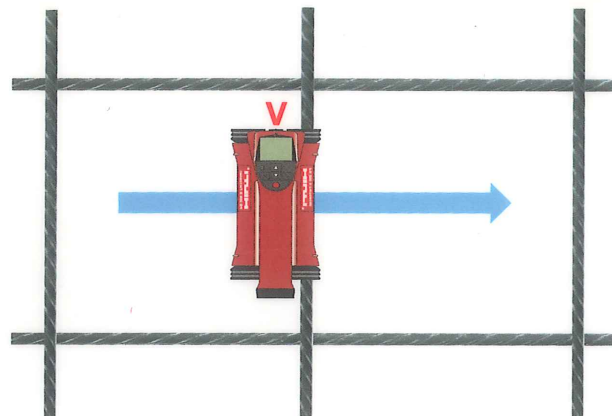
かぶり厚の最小値が示されるのは、鉄筋のセンターの真上ではなく、平面位置誤差が発生することが知られています。

しかしながら簡便なので、

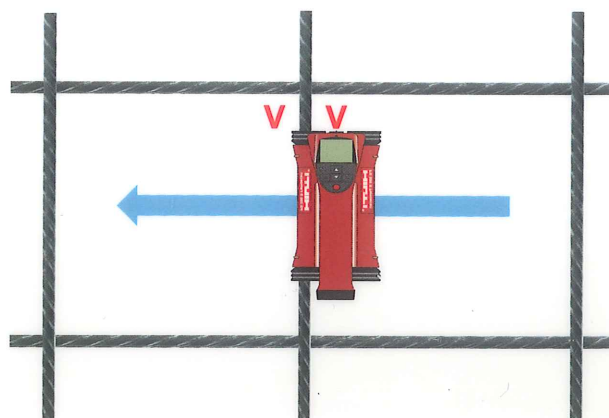
- ・かぶり厚のみを迅速に知りたい場合
 - ・ピッチを知りたい場合
 - ・本数をチェックしたい場合
- などに適しています。

一方、鉄筋間近のコア抜きなど、高精度が求められる位置だしは、右の⑦の方法が適しています。

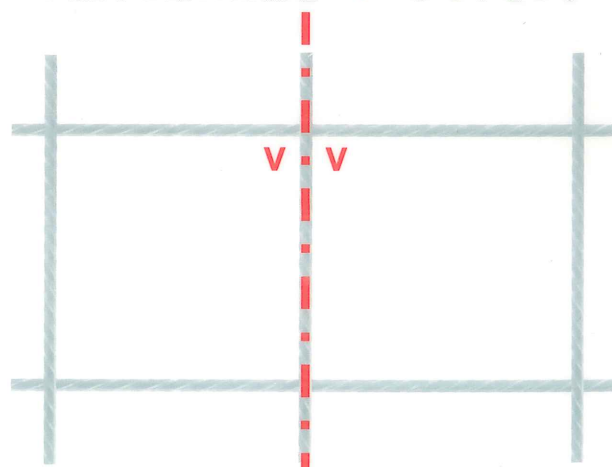
⑦高精度の鉄筋位置だし



- ① →方向に転がし、各鉄筋付近でLEDが点灯し始めた点を **V** して下さい。



- ② ←方向に転がし、各鉄筋付近でLEDが点灯し始めた点を **V** して下さい。



- ③ 両方向からの **V** 印の中心が鉄筋の中心になります。(誤差は5mm以内)